



いなばし

議会だより

No.25/4月議会号
平成31年4月26日発行

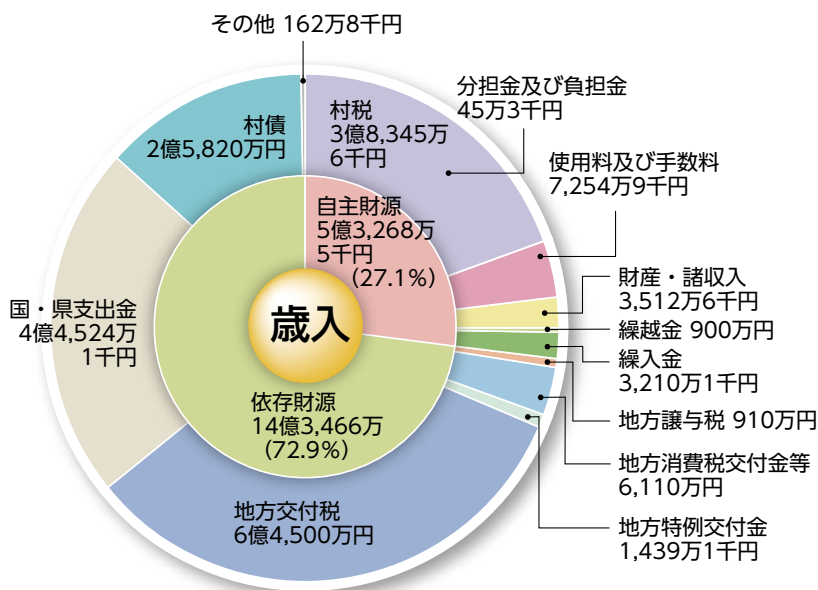
満開の桜が咲き誇る京坪川河川公園

- 平成31年度予算の概要 …… 2
- 一般質問 …… 3～9
- 議会活動レポート …… 10
- 議員提出議案賛成・反対討論 …… 11
- 常任委員会報告 …… 12～13
- あとがき …… 14

平成31年度予算の概要

一般会計 19億6,734万5千円
特別会計 3億8,890万2千円

歳入（一般会計）



「村税」は、固定資産税や法人住民税が増加し、全体で1,367万2千円の増。

「繰入金」は、財政調整基金から3,000万円を計上。

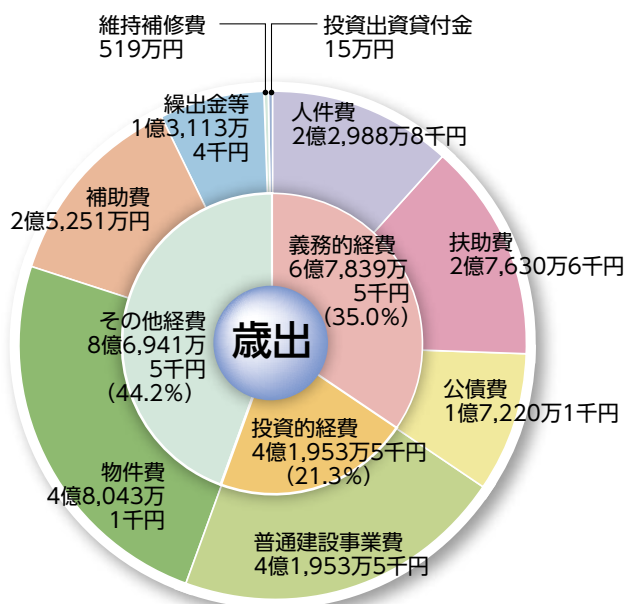
「国・県支出金」は、子育て支援賃貸住宅建設に係る補助金の増や、ふなはし認定こども園などの運営に係る負担金が大幅に増加したことから、1億4,166万5千円増の4億4,524万1千円。

「地方交付税」は、国の財政計画に伴い、1,500万円減の6億4,500万円。

「村債」についても、上記賃貸住宅建設分の影響により、1億1,260万円増の2億5,820万円の計上となっています。

依然として「地方交付税」への財源依存が高い状態が続いています。

歳出（一般会計）



「扶助費」は、ふなはし認定こども園などの運営に係る「子ども・子育て支援費」の増加により5,706万8千円の増。

「普通建設事業費」は、子育て支援賃貸住宅建設費や子育てモデルエリア内の整備費用として3億1,220万円を計上。

このほかにも、幹線村道の整備事業費等を盛り込み、1億8,322万5千円の増。

「物件費」は、村の基幹産業である農業の振興事業費として新たに413万7千円を計上した一方、地方創生事業費や埋蔵文化財発掘調査費の減などが影響し、2,261万6千円の減。

舟橋村の未来は!!



明和善一郎
議員

問 新ハザードマップについて
答 正確なマップ作製に取り組む

問 新年度予算の中で計画されています、新ハザードマップの現況はどのようになっているか。

答 県では県下全域のマップ作りに作業が進められていると聞きますが、末端の安全を考えた場合、地元・地域の意見をくみ取った考えが重要になってくると思われるが当局の考えは。

警報発表の少ない舟橋村だが災害はいつ発生するかわからない。1000年・10000年

に一度発生するかもしれない洪水対策に対応できるマップ作りについて問う。

答総務課長 村では、平成31年度に当該河川域を同じくする立山町と共同で、洪水ハザードマップの改訂を行うこととしており、修正箇所公表後の作製となるので、誤りがあつた件に関しては影響のないものと考えている。

新たな洪水ハザードマップは、災害に強い安全安心なまちづくり

を進める上で極めて重要な資料となるので、今後の作業手順において的確な調査を行い、

より正確なマップの作製に取り組んでまいりたい。

問 街路樹の管理について
答 状況に応じた対策を講じる

問 オレンジロードの中学校グラウンド角交差点より東芦原動物病院角交差点までに植栽されている街路樹（えんじゅのき）は当初植えられたときは33本であつたが毎年数本ずつ枯れ現在生き残りは11本となっている。歩道の半分を専用している花壇には枯れ株と雑草、笹の葉が覆い茂っている。

及び歩行者の安全面を考慮して伐採したものである。村では現状植栽柵スペースを花壇として再

利用する方法も検討したが、現状では抜根していないことからその作業にかかる費用や今後の維持管理費用等にかかる費用対効果から実施することが困難であると判断している。今後、周辺の景観や歩行者の安全性に支障をきたす問題が生じた場合には、舗装工事の施工や根の周囲を蓋で覆うことなどにより対応してまいりたい。

答生活環境課長 街路樹の植樹帯で欠けている箇所については、台風による倒木や枯れたために、車からの視界



樹木の欠けている植樹帯

問 村医療の今後について
近隣市町に総合病院があり影響は少ないと考える

問 村内には、内科医
院、歯科医院、接骨院
があるが、今月末で内
科医院が辞められると
聞く。

地方創生の中で人口
増対策に取り組みを強
化している時期、小学
校児童や未就学児が増
加しており、突然の発
熱等の対応が出来なく
なり不安が増大する。

平成30年度1年間に
舟橋分遣所の救急車が
出動した件数は257
件で村内への出動は82
件そのうち18歳未満の
搬送は9件、内未就学
児は5人であった。

内科医の廃業の影響
は救急活動にも影響す
るものと思われるが、
高齢者人口が増えつつ
ある現状を見たとき
に、高齢者の不安を取
り除くためにも、内科
系医者の確保や開業に

向けた支援策について
考えを問う。

答 村長 舟橋クリニックが今年3月をもって
閉院されます。このこ
とを受け、今年1月に
は舟橋小・中学校医を
富山市の医師に、本村
の医療行政に関係する
各種協議会委員の選任
にあたっては中新川郡
医師会に依頼し、承諾
を得た。

本村から診療所が無
くなる影響について
は、村の近隣の市町に
は、総合病院や専門科
の診療所があることか
ら、村民のかかりつけ
の医師が、多方面に広
がり、上市町、立山町、
滑川市、富山市の病院
や診療所を利用して
いる方が多数おいでに
なりますので、大きな影
響がないものと考えて
いる。



森 弘秋
議員

問 中期的、かつ将来を見据えた
診療所等の対策は？
答 診療医師の誘致等に努める

問 医療過疎という言葉
を耳にしますが、幸い
舟橋村は、「へき地」
ではないので、心配は
いらなそうと思われ
る。

が、舟橋村唯一の診
療所が廃業すると聞
き、無医地区になる
のではと心配をして
いる。

医療連携は当然のこ
とであるが、しかし、
何と言っても近くに診
療所等、施設があれば
村民のよりどころにな
るのではないか？

村民は、「いよいよ、
村は無医村になるので
すか？この後はどうな
るのですか？

私を含め近所の方が
診療所に通っておられ
ます。心配です。」

また、「現在の診療
所は、苦勞して来ても
らったと聞きます。村
長は、どんな考えなの
ですかね？」村民の皆
さんにとって切実で
す。村長は、「地域の
人に見守られながら子
育てをする安心感を持
ち、村に住み続けても
らいたい。」と言っ
ている中、今後、将来を
見据えた診療形態が不

可欠の条件ですがいか
に。
答 村長 4月からの舟
橋小・中学校医は、富
山市の医師に。本村の
医療行政に関係する各
種協議会委員の選任に
あたっては、中新川郡
医師会にお願いし承諾
をいただいている。

本村の近隣には総合

病院や専門科の診療所
が多数あり、村民の医
療面では、大きな影響
が出るとは考えていな
い。

当分の間子ども達の
予防接種等で戸惑いが
出ると思うが、早期に
解消出来るよう、また
診療医師の誘致等に努
めてまいりたい。



閉院が決まった舟橋クリニック



吉川 孝弘
議員

問 6次産業化の取り組みについて
村全体の農業の底上げを実施
していく

問 村の農業従事者は年々減少傾向にあり、新たな若い人材が取り組みやすい産業が求められている。

6次産業は生産・加工・販売・観光等を一体化したアグリビジネスの展開や、イノベーションを起こし、付加価値を向上させる事業であり、加工や販売を手掛ける事によって1年間を通じて仕事ができる。

舟橋村でも6次産業化を実現化していくためには、付加価値の向上を目標として生産・加工・販売の一体化や

新商品・新サービス開発などの取り組みが必要ではないか。

舟橋村の農業を活性化してくれる人達に、もつと6次産業をPRし、舟橋村の豊かな大地で育った資源を使い、新しい産業を創出・育成する人材作りも大切である。

今までの村での取り組みの事案や、今後の構想について問う。

答 生活環境課長 本村の農業は、稲作が中心であり、転作作物として、大麦等が作付されてきたが、近年では6次産業化への参入が増

えてきている。

舟橋駅のテナントで営業いたしておりますCOCOCCHIは、富山県の補助金を受け、お※食堂をオープンしました。また、森崎開発は、本村の支援を受け、トマト水耕栽培や加工等の取り組みを行っている。

今後は、農業法人等の経営者の方やエイジ

レス世代を対象とした農産物の栽培講座などの取り組みを実施することで、6次産業化や村全体の農業の底上げを実施していく。



ふれあい農園 (東芦原地区)

問 高齢者等の成年後見制度の活用について
答 制度の周知や利用の働きかけを行う



田村 馨
議員

問 認知症高齢者、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が十分でない方々は、財産管理、契約締結、遺産分割の協議などの必要があっても、自分で行うことが難しい場合がある。また、自分でよく判断ができずに契約を結んでしまい、悪徳商法の被害に遭う恐れもある。このような成年者を保護し支援するのが成年後見制度である。

また、成年後見制度は、私的事項や認知的事項に関わることであり、本来自治体は関与しないが、認知症高齢者や知的・精神障害者の福祉の増進を図るため必要がある場合は、市町村長に後見開始の審判申し立て権が付与されている。また、介護保険事業におけるサービス給付を選択する本人の判断能力が不十分なときも、制度の利用が必要となる。

そこで、成年後見制度の存在及び村長に後見申し立て権が付与されたことの周知について、制度を利用された方はいるか問う。

答生活環境課長 本村では、成年後見制度の利用にあたり申立費用および成年後見人の報酬を負担することが困難な人に対し助成する「舟橋村成年後見制度利用支援事業実施要綱」また、後見開始審判の申立を自ら行うことが困難で、かつ親族等の申立が困難な人に対しては、村長が申立を履行する「舟橋村成年後見申し立て支援事業実施要綱」を制定し、平成29年4月1日に施行している。

今後制度の利用要望が高まることが推察されることから、村民のニーズを図り、成年後見制度の周知や利用の働きかけに取り組んでいく。

問 生涯学習の充実について 各種団体と連携し事業を進める

問 生涯学習は、従来の社会教育の枠組みではとらえきれないほど幅広い展開を見せており、生きがい作りを目標とした旧来の生涯学習と、まちづくりへの学習、協働の視点をも視野に入れた新しい生涯学習とがともに必要となってきた。そこで、当村の目指す生涯学習を実現するための具体的推進策について問う。

今までも生涯学習の機会の提供などの支援はなされてきているが、学習成果の活用などに関する支援については、さらに検討を重ねて頂きたい。

村内外で講座を受講されている方々の作品を出展、展示されている方々が抱かれています。日ごろの学習成果を



て問う。また、学習成果をまちづくりや地域の課題解決に生かすための事業の取り組み状況についても問う。

答教育長 生涯学習とは、人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち学校教育・家庭教育・社会教育・文化活動・スポーツ活動・レクレーション活動・ボランティア活動など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられている。

本村の生涯学習・生涯スポーツの推進については、第4次総合計画、教育大綱にもあるように参加機会の創出や主体的な学びの場となるように、図書館や舟橋会館、教育委員会関連団体、総合型スポーツクラブ、スポーツ推進委員協議会、体育協会など連携して体制整備等に努めております。そして、村民一人ひとりがその生涯にわたって、あらゆる機会・場所において学習

できその成果を適切に生かすことが出来るように、また、多様な住



問 子育て支援賃貸住宅の運営内容について
答 エリアマネジメント協議会で詳細を決定する

問 新年度予算案においてその建設費用等の事業費、2億8千万円余りが計上されている子育て支援賃貸住宅について、昨年6月議会において「入居条件や家賃等はエリアマネジメント組織で検討していく」との答弁があったが、現時点での協議の状況について問う。

また、モデルエリアマネジメント協議会の支援等に1千数百万円

の予算が計上されているが、この協議会は各構成員独自で検討・運営をできない組織なのか？

答生活環境課長 モデルエリアの運営条件、賃貸住宅への入居者要項・入居規約、入居者募集方法等につきましては、3月中に取りまとめる予定であり、家賃については、エリアマネジメント運営経費を含めた収支バランス

に基づいて算定する予定であり、新年度に実施する関係事業にかかる国の内示額により、家賃の算定に影響するため、新年度早々に決めていく。



造成が進む子育て賃貸住宅



問

子育て支援に係るICT活用事業について

答

舟橋型子育て支援体制の確立を目指す

問 子育て支援アプリの運用・保守費用等と1千万円が予算計上されているが、このアプリに関してこれまでの予算の実行状況とその成果等について明らかにすること。

子育てアプリというのであれば、市場に出回っている有名サイトの活用で簡単及び低額で入手できるものではないのか。

現在、運用できていないアプリに対して改修費用が追加で予算化されているのは、当初のプロポーザルの条件にあったことなのか。

答 生活環境課長 本村

の子育て支援アプリ事業は、利便性のための市中アプリとは、用途目的が大きく異なるコミュニティ創りへのツ



ールであるため、この開発にあたっては、動作検証や運用検証を何度も繰り返し実施することから、多額の経費を投入してきたが、今年度完成いたします子育て支援アプリをモデルエリア運営を通して、村内から村外へ拡大することで、舟橋型子育て支援体制の確立を目指していく。

問

舟橋村総合計画に基づいた環境衛生について

答

住民ニーズに沿ったごみ収集を検討する

問 舟橋村は循環型社会の実現を目指し、ごみ排出の再資源や再利用・減量化が進んでいる。また舟橋村のごみ処理の充実、富山地区広域圏事務組合の中で推進されている。しかしながら、そこに加入する市町村でゴミの出し方には多少の相違があり、特に舟橋村は他市町に比べて相違点が多い。

富山広域圏事務組合の中で推進しているのであれば、他市町同様に、それに準じた収集方法をとる事は出来ないのか？また、3月

広報の中に平成31年度「家庭ごみ・資源ごみの収集日年間予定表」が折り込まれていたが、4月27日から5月6日までの10日連休には、これまでは行われていなかった4月29日「昭和の日」5月2日の「国民の休日」の2日間の祝日に可燃ごみの収集が行われる。しかし本年度については、祝日を挟む事によって4日間可燃ごみ収集のない回数が9回、5日間可燃ごみ収集のない回数が1回あ



前原英石
議員

る。

そこで祝日でもクリーンセンターが営業を行っている日があれば、収集を行う事は出来ないのか?「家庭ごみと資源物の分け方と出し方」の見直しと、富山地区広域圏が営業を行っている月曜日が祝日となる場合の可燃ごみ回収について問う。

答生活環境課長 近年、本村のゴミ量の推移を見ると、資源ゴミ量が減少し、燃やせるゴミや燃やせないゴミが増加傾向にあることから、広報「ふなはし」による啓蒙活動や資源ゴミの収集回数を増やすなど、ゴミ量を減らし、資源ゴミ量を増やす取り組みが求められると考えている。

現在、広域圏の市町村で燃やせるゴミ収集は、本村が週3回に対し、他の市町は2回、反対に古紙や紙製容器包装等の資源ゴミの収集は、本村が2ヶ月に

1回に対し、他の市町は月に1回から2回実施していることから、本村にとりまして住民ニーズに添った相応しいゴミの収集日や収集回数等につきまして、十分検討する。



問 1,000年に一度を想定した「洪水ハザードマップ」は必要か?
答 地域の水害に対する危険度への周知を図る



竹島 貴行
議員



問 平成20年に立山町と共同で作成したハザードマップを1,000年に一度を想定した新基準で作成する事業は、村の実状を考えると適切ではないと考える。新基準で考えると常願寺川堤防や白岩川堤防が決壊し、甚大な被害が出ることになる。このようなハザードマップは住民の不安感をあおり適切とは考えられない。また既存の洪水ハザードマップは舟橋村エリアが小さく見づらい。作るのであれば、舟橋村

だけを表示したマップにすべきではないか?
答総務課長 洪水ハザードマップは自分の住む地域の水害に対する危険度を知っていたかどうかとともに、災害時に住民自らが避難活動を行うために必要な情報を提供している。大雨による河川の増水は地震と違い、徐々に危険度が増す災害であり、テレビやラジオ、インターネット等で情報収集することで危険度を知り、早めに避難することで危険を回避することができる。

激しい雨の場合には雨の音が大きく、広報車や防災無線の呼びかけが聞こえないこともあるため、日頃から防災に関する備えを自ら

行ない、自ら避難経路を決めておくなど、ハザードマップを活用した避難計画を立てておくことが大切であると考えている。



日頃から災害に関する備えを行いましょう

問 舟橋村の地域医療と在宅医療について
答 「地域包括ケア」のシステムにより影響は少ない

問 これまで村の一次医療圏（地位医療の拠点）を担っていた舟橋クリニックが閉院される。しかし地域医療は

今後必要であり継続されるべきである。現在、常備消防による救急医療体制が構築され、一時医療圏と救急

医療が連携して二次医療圏へ繋げる仕組みが整った。また在宅医療は、たてやまつるぎ在宅ネットワークシステムが包括支援センターと連携して訪問診療等の活動をしているが、診療内容は重度療養患者が対象の限られたものです。

今後、村の医療環境を充実させるため、地域の事情にあった柔軟なシステム対応が求められると共に、一般診療を担う地域診療の拠点誘致が必要ではないか？

答村長 本村の中核と



なる医療機関は、中新川郡医師会をはじめ、かみいち総合病院、訪問看護ステーション、中新川広域行政事務組合、立山町、上市町、舟橋村で構成する「たてやまつるぎ在宅ネットワーク」である。

現在、中新川郡医師会、かみいち総合病院を中心とし、退院後の高齢者の在宅医療が「地域包括ケア」というシステムの中で遂行しているため、舟橋クリニックの閉院による本村の在宅医療に与える影響はないものと考ええる。

問 答

特別職報酬について問う

審議会の答申をもとに条例を制定する

問 特別職報酬審議委員会から答申された特別職報酬増額について住民の関心を生んでいる。報道によると議員報酬増額は、議員の成

り手不足対応や議会の会期増加が主な要因とのことだが、報酬とは表面的なパフォーマンス対価ではなく、議員が担う責任の対価と考える。

その責任とは二元代表制の下、村から提案される議案を議会で審議を尽し、村に与る善し悪しを判断し決定する責任と政策の遂行状況を監視チェックし、住民サービスがしつかりと遂行させる責任等、村づくりを決める重い責任が議員にある。その責任を果たすことの対価が報酬と考える。

次に村長報酬について

は業務の拡大により増額が妥当だと答申されたが、副村長や教育長の報酬増額理由は？

答村長 特別職報酬審

議会の答申では、村の人口増対策や子育て施策において成果が上がっていること。自治体機構のスリム化を計画しており、今後村長の業務が増えることも合わせて考慮し、諮問額のとおり増額することとは妥当であると判断された。

また、副村長、教育長は周辺自治体と比較しても低額であることから、諮問額のとおり増額することは妥当であること、議員報酬については、委員会制度の導入、議員活動の時間が増加したこと、議会広報の発行等で傍聴

者を増やす努力を行ない、インターネットによる議会傍聴の成果も上がってきているという答申を真摯に受けとめ、当議会において舟橋村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例を制定する。



春の陽気に誘われて

ティータイム



ポカポカ ポカポカ陽気
陽気に誘われ孫とお散歩
あ！ ふきのとうが芽を出してる！
きれいな色の葉っぱだねー
ふきのとう味噌、ふきのとうのよじし
頭の中は食べ物でいっぱい！
ふきのとうは美味しいよー
孫は食べれるのー
ちよつと苦いかな？
にがいのきらいー
ふきのとうは春の味覚
孫には旬の味覚を味わってほしい
春の味覚を探しに探検、続行！

村議会活動レポート

2/20
(水)

全国町村議会議長会表彰

市町村会館で全国町村議会議長会表彰伝達式が行われ、長年の議員活動を称え、全国町村議会議長会から特別功労者表彰を、前原英石議員と竹島貴行議員が授賞しました。



表彰状を受けとる前原議員



表彰状を受けとる竹島議員

2/20
(水)

町村議会議員・事務局職員研修会

市町村会館で「北陸新幹線開業後の北陸と富山～観光・産業の動向～」という演題で研修会が開催されました。

県内町村議会議員が一同に会し、議員の資質向上に向けての貴重な研修会となりました。



賛成・反対討論



反対討論

田村 馨議員



本定例会に提出された議案第11号「舟橋村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の部を改正する条例制定の件」に反対の討論を行います。

この間労働者の実質賃金は下がり続け、平均消費支出もマイナスになるなど、暮らしは深刻な状況が続いています。また、高齢者の年金も下がりが続き、村民に多くの負担を強いている現状があります。来年10月からは消費税の増税も強行されようとしており、今後も住民生活への影響が懸念されます。

そうした中で、今回

の議員報酬並びに特別職給与の大幅な増額は

到底、村民の理解を得られるものではありません。新聞報道などを受けて、多くの村民から「あまりにも唐突」の声や、諮問内容が村民に示されてこ

なかったこと、引き上げ幅がきわめて大きいことから、不信の声が寄せられています。

そもそも、こうした案件は十分な住民理解を得て進めるべきでありです。もし増額するのであれば、きちんと時間をかけて広く村民の意見を求めるよう、進め方を抜本的に改められるよう求めま

す。

この間、議会においてさまざまな改革が行われてきたことは大きな前進ではありますが、まだまだ不十分です。

議員のなり手不足、人材確保という観点でも、単に報酬さえ上げれば解決する問題ではありません。しっかりと議会活性化の取り組みを行い、村民とともに考え、まちづくりのため奮闘している議会の姿が村民に見えるなければならないと思います。

以上のことを理由とし、反対討論といたします。



賛成討論

吉川 孝弘議員



舟橋村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の部を改正する条例制定の件で、特別職の報酬は近隣の行政機関に比べ少なく、村への貢献度や非常に重い責任度や行政サービスの低下が、村民の暮らしに影響を与えない施策作り、また、舟橋村特別職等報酬審議会での答申におきましても、諮問額のとおり増額することが妥当であると判断されました事により賛成いたします。

大まかに言っても村民のみなさんには理解しがたい部分でありますので、詳細な説明をいたします。

村長報酬は、若い世代を中心に全国で少子化が加速する中、舟橋村は増加傾向と人口増対策や子育て施策などにおいて成果が見られるなど、小さな村の自治体の注目度を上げております。さらに自治体機構のスリム化を打ち出し、今後ますます業務が増えることが予想されます。そのような中で近隣自治体と比較しても低額であり、増額は妥当と考え賛成とします。

副村長報酬は、現副村長は就任以来同額の報酬で、近隣自治体と比較しても低額であり、増額は妥当と考え賛成とします。

教育長は制度改正により教育長と教育委員長との兼務となり、職務量が増えており、増額は妥当と考え賛成とします。

議員報酬は地方議員のなり手不足が深刻化している中で、舟橋村も近年、選挙が行われなかった事からも、その端が見て取れます。

議会も村民にインターネット中継の見える化や、委員会制度での活性化、など、議員活動の大幅な時間の増加等で議員の業務も増えています。

全国町村会の有識者検討会等の報告書によりますと、全町村議会対象のアンケートでも報酬が月額26万4000円以上の議会では、無投票が11%に対して、月額16万3000円未満の議会では、37%と報酬が低いほど無投票になりやすい傾向が見られ、議

員のなり手不足の要因となっております。

村民からも、近隣議会と比べると少ないから、もう少し上げて良いのではないかと、その声もあり住民からも理解を得ていると思っております。

インターネット中継の議会傍聴も成果が出て来ており、議会広報誌でも村民に伝える努力をしています。

また、昨年末の12月議会では、議員定数を8人から7人と身を切る改革による議員の資質向上に努めています。

こうした結果を踏まえ、議員報酬の増額は、仕事に對しての対価との位置付けとして、今後の議会活動の充実を図る事や、さらに住民の理解が得られるよう更なる議会の「見える化」ならびに、開かれた議会に取り組む事をめざして、報酬の増額を考慮すべきことと申し上げ、賛成討論と致します。

伴うまちづくり

質疑
応答



総務教育 常任委員会

これから「コミュニティ」は…?

問 総務費県補助金 移住支援金交付事業費補助金 750千円の積算根拠は？
(川崎)

答 首都圏からのUIJタインの促進を目的に富山県と15市町村で実施する事業で、事業費の国が2分の1、県・市町村が各4分の1を負担するものである。

問 認定こども園英会話教室委託料が前年度より300千円減額になった理由は？
(川崎)

答 30年度までは、教材費として村独自の英語教室用の紙芝居の作成費が含まれていたが、完成に伴い31年度予算が減少した。

問 社会教育費 部活動指導員報酬が182千円減額された理由は？
(田村)

答 部活動指導員の活動実施日が、予算計上の日数よりも少なかったため、減額した。この事業は県からの補助を受けて現在中学校に1名配置している。引率や生徒指導も兼ねており競技のレベルアップ以外の面でも効果が出ている。

問 特別職報酬で村三役も併せて増額とした理由は？
(田村)

答 周辺自治体と比較しても低額であること。村長は自治体機構のスリム化を計画しており、今後村長の業務が増えることを考慮し、教育長は教育委員長とあわせた形となったことで職責が上がったことを考慮し、特別職報酬審議会に諮問した結果、三役も含めて増額が妥当という答申であった。

問 地方創生事業について
(前原)

① 仮称 株式会社舟橋村に関する事業はどうなったのか？

② 子育てアプリの現状について説明を求める。

③ 地域課題解決に資するビッグデータ戦略活用事業について説明を求める。

④ 子育て支援モデル事業に係るICT活用推進事業について説明を求める。

答

① エリアマネジメント組織づくり支援事業で継続して実施しており、平成32年度末の立ち上げを目指している。

② 今年3月中に完成する予定であり、今月末から利用促進イベントを開催する。

③ 平成28年度・29年度は、ICTの特性を活かして多くの母親を繋ぎ、交流できるサービスの

開発と利用者によるコミュニティの交流データを集積する仕組みを構築し、蓄積データを分析することで、コミュニティの担い手候補者を発掘する仕組みを構築した。

④ 今年3月に完成するアプリの利用者を増やすことで、地域コミュニティの促進と地域リーダーの育成を図る。



部活動指導の強化によりレベルアップしているテニス部

産業厚生 常任委員会



子育て賃貸住宅は…？

問 農業総務費 ドローン

防除補助金は薬品に関する補助なのか？（吉川）

答 防除作業における農家の負担軽減と法人強化を目的に作業費及び薬品にかかる費用の3割を負担する。

問 簡易水道事業歳入の村債78、500千円について説明を求める。（森）

答 平成31年度は、県道富山上市線の舟橋と国重地内において、老朽管の布設替え工事を予定している。総事業費から国費を差し引いた全額を借り入れるもの。

問 竹内団地造成に伴う取付道路の公費負担について説明を求める。（森）

答 今後本村へ転入される方への利便性を考慮し先行投資するものである。

問 子育て賃貸住宅関係（杉田）

① コミュニティーセンターの検討状況について

② マネジメント組織からの意見について

③ マネジメント組織及び

プレーヤーの進捗状況について

④ 入居条件等に関する検討状況は

⑤ 竹内自治会への説明状況は

答 ① 現時点で建築は予定していない。

② 平成32年度中のマネジメント組織の立ち上げに向け、公園、こども園、賃貸住宅の主体運営事業者を中心に協議を進めている。

③ 平成30年度は賃貸住宅の運営方針の共有、入居募集に向けたイベントの開催、広報戦略等主に計画づくりを進めている。

④ 未就学児童を有する子育て世代で賃貸住宅運営コンセプトに共感いただける方を対象とした。入居条件等の詳細は6月議会に提案したい。

⑤ 今月末に竹内自治会に説明会を開催し、事業概要、工事スケジュール等について協議予定。

問 ICT活用事業について事業の詳細説明を求める。

答 平成28年度・29年度は、ICTの特性を活かして多くの母親を繋ぎ、交流できるサービスの開発と利用

者によるコミュニティの交流データを集積する仕組みを構築し、蓄積データを分析することで、コミュニティの担い手候補者を発掘する仕組みを構築した。

30年度は舟橋村子育て支援アプリが完成する。

31年度以降は、アプリの利用者を増やすことで、地域コミュニティの促進と地域リーダーの育成を図る。



造成工事が進む子育て賃貸住宅



防除作業に大きな力を発揮するドローン

ちよつと村の議会 行ってくるけ！

みなさんの
傍聴をお待ち
しております

3 月定例会議案採決一覧

○賛成 ×反対 △保留・欠席

議 案		議長	議 員						
		川崎 和夫	前原 英石	竹島 貴行	明和善 一郎	森 弘秋	吉川 孝弘	杉田 雅史	田村 馨
第1号	平成31年度舟橋村一般会計予算	—	○	○	○	○	○	○	○
第2号	平成31年度舟橋村土地取得事業特別会計予算	—	○	○	○	○	○	○	○
第3号	平成31年度舟橋村国民健康保険事業特別会計予算	—	○	○	○	○	○	○	○
第4号	平成31年度舟橋村簡易水道事業特別会計予算	—	○	○	○	○	○	○	○
第5号	平成31年度舟橋村後期高齢者医療事業特別会計予算	—	○	○	○	○	○	○	○
第6号	専決処分の承認を求める件	—	○	○	○	○	○	○	○
第7号	平成30年度舟橋村一般会計補正予算(第7号)	—	○	○	○	○	○	○	○
第8号	平成30年度舟橋村国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	—	○	○	○	○	○	○	○
第9号	平成30年度舟橋村簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)	—	○	○	○	○	○	○	○
第10号	平成30年度舟橋村後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	—	○	○	○	○	○	○	○
第11号	舟橋村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例制定の件	—	○	○	○	○	○	○	×
第12号	舟橋村職員の勤務時間、休暇等に関する条例一部改正の件	—	○	○	○	○	○	○	○
第13号	指定管理者の指定の件	—	○	×	○	○	○	○	○
第14号	舟橋村に副村長を置かない特例に関する条例制定の件	—	○	○	○	○	○	○	○
選挙1号	富山県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙	—	○	○	○	○	○	○	○

あとがき

早いもので四年の任期が終わろうとしています。報告特別委員会では議会だよりのリニューアルなどの大きな役割を担うことができました。

「議会で何を議論しているのか」「議員は何をしているのか」

全てをお伝えすることは出来ていませんが、議会としても、工夫しながら「伝える」努力を重ねていく必要があります。

現在のメンバーでの編集は今号で最後となりますが、これからも進化する「ふなはし議会だより」にご期待ください。

(田村・記)

議会広報特別委員会

委員長 吉川孝弘
副委員長 森弘秋
委員 明和善一郎
委員 田村馨

議会・議会だよりについて、みなさまのご意見・ご感想をお寄せください。



舟橋村議会事務局 Tel.464-1121(代) Fax.464-1066
〒930-0295 富山県中新川郡舟橋村佛生寺 55



議会中継は村のホームページ中央の「インターネット議会配信」から見るができます。